



みんな笑顔の楽しい木工工作！

令和5年4月29日（土）～5月7日（日）の9日間、釧路市こども遊学館（釧路市幸町）で、GWイベント2023「木のおもちやをたのしもう！」が開催されました。

期間中、木をテーマに、GWワークショップ端午の節句にちなんだ木工工作、「木いちごチャームを作ろう！」等の様々な催しが行われ、当センターからは、イベント序盤の4月29日（土）・30日（日）の2日間、自然の素材を使った「ふれあい木工クラフト」を開催しました。当センターは、こども遊学館のスタッフとボランティアの皆様にお手伝いをいただき、マツボックリや木



▽木工クラフト作りの様子

の枝・輪切りの木等の森林の恵みで木工クラフト作りを行いました。当日は、小さなお子さんや大人の方も熱中して木工クラフトを楽しんでおり、見事な作品や個性的な作品等を作られている姿が見られました。

参加者の方々からは「おもしろい！」「かわいい！」「また来てつくりたい！」「楽しかった！」等の嬉しい声が飛び交っていました。

新型コロナウイルス感染症予防の対策もしっかりとられ、2日間で約200名を超える参加があり、親子や友達同士で木工クラフト作りに熱中する様子が見られる等、大盛況となりました。



▽完成した作品

森林の役割をわかりやすく講話！

令和5年5月10日（水）、標茶町立虹別中学校（川上郡標茶町字虹別原野）において、総合的な学習の時間で「森の講話」の森林環境教育支援を行いました。

この取組は、昨年3月に虹別中学校の担当の先生より、森林の持つ役割や持続可能な循環型社会（SDGs 関連含めて）のことなどの講話のご依頼をいただいたことから、全校生徒（26名）を対象に昨年実施させていただいたものに続いての講話となります。

今年の内容については、森林の水質浄化機能と水源かん養機能についての講話をさせていただきました。（今年度は、全校生徒28名）

まず始めに、森林の水質浄化機能についてですが、森林が水をきれいにする仕組みについて、森林の土壌をペットボトルを用いて再現した、簡易な濾過装置で実験を行い、森林の水質浄化機能を体験してもらいました。

生徒の代表の方に、装置に敷き詰めるミズナラの枯れ葉を入れてもらったり、泥水を装置の上から注いでもらったりと実験の手助けをしても



▽ろ過される前の泥水



▽ろ過された水



▽簡易ろ過装置

らいました。
 浄化には時間が掛かるため短時間では量が少ないですが、若干の水がきれいになるのを確認していただきました。
 生徒の中には、「こんな仕組みになってるんだ。勉強になりました。」「森林や自然を大切にしないといけない。」などの言葉が出てきてみんな真剣なまなざしを注いでいました。
 次に、森林の水源かん養機能として、分かり易い図解のマンガで、森林が水を蓄える機能があるのと同時に土砂の崩壊を防止したり、緑のダ



▽森林の持つ役割・働きの説明の様子

ムとなって徐々に河川に水が流れていくので、乾季が続かない限り、川にはいつも水が流れ、日常生活用水にも使われていること。そして、私達の生活をするうえで必要不可欠なものとなっていることなどの解説を実施し、身近にある森林の役割を幅広く知ってもらいました。
 最後に、『私達がいつも飲んでい



▽水源かん養機能の説明の様子

る水道水は、森林の「水質浄化機能」や「水源かん養機能」の恩恵を受け、長い時間を掛けて湧き出てきた豊富な地下水や湧水をもとに作られています。森林資源が豊富な我が国では、蛇口をひねると水が出てきますが、この状況をあたりまえと考えず、森林の働きについて、今一度考える機会としていただけたらと思います。豊かな森林を守り育て、未来へつなご、限りある水資源を大切に使いましよう。』と説明させていただきました。
 今回の取組を通じて生徒の皆さんが森林の良き理解者になってもらえればうれしく思います。
 今後も、要請があれば少しでもお役に立てるようセンターとして積極的に応えて行ければと考えております。



林野庁 北海道森林管理局 釧路湿原森林ふれあい推進センター

〒085-0825 北海道釧路市千歳町6番11号

【IP】050-3160-5787 【TEL】0154-44-0533

【E-mail】h_kushiro_f@maff.go.jp

【URL】https://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/kusiro_fc/



当センターは、根釧西部森林管理署が管理経営する国有林を主な活動区域として、フィールドの特徴を踏まえて、教育関係者、ボランティア団体・地域住民、企業、行政機関等の活動支援や技術指導を行っています。